

「名古屋市立大学 桜山キャンパス 実験動物研究教育センター改築設計委託」
簡易公募型プロポーザルによる最優秀提案者の選定及び契約について

令和7年8月27日
公立大学法人名古屋市立大学

簡易公募型プロポーザル方式により実施した「名古屋市立大学 桜山キャンパス 実験動物研究教育センター改築設計委託」について、下記のとおり最優秀提案者を選定し、契約しましたので公表します。

記

- 1 件名
名古屋市立大学 桜山キャンパス 実験動物研究教育センター改築設計委託
- 2 選定方式
簡易公募型プロポーザル方式
- 3 経緯
令和7年6月27日 プロポーザル実施公示
8月 4日 企画提案書提出期限
8月12日 評価委員会（ヒアリング）
8月18日 契約候補者の決定・通知
- 4 審査結果
＜最優秀提案者＞
株式会社 山下設計 中部支社

＜総合得点＞
75.5点（100点満点）
※審査結果及び審査講評は別添のとおり

以上

名古屋市立大学 桜山キャンパス 実験動物研究教育センター改築設計委託
プロポーザル審査結果

得点	配点	株式会社 山下設計 中部支社
業務遂行能力	40	26
企画提案能力	60	49.5
合計	100	75.5
順位		1位（最優秀提案者）

「名古屋市立大学 桜山キャンパス 実験動物研究教育センター改築設計委託」
簡易公募型プロポーザルによる最優秀提案者の選定について

<講評>

このプロポーザルでは、基本計画を踏まえ、豊かな発想力と確かな技術力をもって基本設計・実施設計を行うための、業務遂行と企画提案に関する能力を求めました。

提案者は、複数の動物実験施設の設計実績を有し、総括担当者や各主任技術者に経験豊かな人材を配置するなど、優れた業務遂行体制をとることが可能で、十分な業務遂行能力を有すると評価できました。

企画提案については、基本計画を基に堅実かつ具体的な提案であり、3項目共に高評価となっています。整備場所が基本計画時から変更になったことに伴うフロア構成の変更により、安全な実験環境や維持管理に配慮した計画の実現、地階を設けずに機械室を屋外化することによる建設コストの低減など、機能的で合理的な提案がなされました。また、周辺環境への配慮として、ビル風対策のシミュレーションを行い、ビル風の影響が少ない建物形状を検討するなど、実際の敷地状況に即した細やかな提案は非常に評価できるものでした。一方で、提案においてより具体的な比較検討を要する事項や、工事中の安全対策についてなど課題が残っている事項もあることから、今後の設計業務において、本学及び関係者とのコミュニケーションを積み重ね、本提案を基本としながらも、より良いものとなるよう、丁寧に設計に取り組まれることを期待しています。

末尾となりますが、限られた時間の中で多くの優れた技術提案をいただきました株式会社山下設計中部支社に敬意を表します。

<プロポーザル評価委員>

生田 京子	名城大学 理工学部建築学科 教授
大石 久史	名古屋市立大学 医学研究科 教授
鈴木 賢一	名古屋市立大学 特任教授
山口 啓一	名古屋市立大学 施設企画局長